

平成31年3月11日

## 第33回BSN少年柔道大会

### 兼全国少年柔道大会新潟県予選会要項

- 1 主催 株式会社新潟放送・新潟県柔道連盟
- 2 後援 新潟市柔道連盟
- 3 主管 新潟県柔道少年団・新潟県柔道連盟事務局
- 4 日時 平成31年4月7日(日) 8:30~8:50 受付  
9:00~9:30 監督・審判会議  
9:40~ 開会式  
10:00~ 試合開始  
15:00~ 閉会式(予定)
- 5 会場 新潟市鳥屋野体育館武道館  
〒950-0986 新潟市中央区神道寺南2-3-46 TEL:025-241-4600
- 6 種目 小学生 団体試合
- 7 参加資格 (1) 参加する選手は、原則として、平成31年4月2日現在、小学校5年生・6年生の男女。但し、5年生の補充として、4年生を持って充てることも出来る。  
(2) 出場するチームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録していること。  
(3) 参加チームの監督は、全日本柔道連盟に登録していること。  
(4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
- 8 チーム編成 (1) チーム編成は分団、または道場単位とする(混成チームは認めない)  
(2) 1チームの人員は監督1名、選手5名とする。  
(3) 選手の編成は大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生または4年生とし、学年順に配列する。ただし、下学年の児童が上学年の児童の位置に出場することは出来る。(補欠は無とする)  
また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。  
(4) 選手変更は、所定の用紙に記入し、代表者の責任のもと平成30年4月1日(日)8:50まで受付に所定の選手変更届けを2部提出すること。  
変更届を提出しないチームは、選手変更は認めません。  
(5) 当日の事故等によって出場出来なくなった場合は、欠員のままとする。  
(6) 一旦退いた選手は、その後の試合に出場することは出来ない。

- 9 試合方法 (1) 試合は、予選リーグを行い、勝ち残ったチームによるトーナメント戦を行い優勝チームを決定する。
- (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。
- (3) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
- ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- イ 勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技あり」の勝ち数）による。
- ウ 内容も同じときは、リーグ戦においては引き分けとし、トーナメント戦においては代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで、通常の3分間の試合を行う。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は僅少差（旗判定）をもって勝敗を決する。（GSは行わない）
- (4) リーグ戦における順位決定は次のとおりとする。
- ア 勝数、引分け、負数の順位とする。
- イ アで同等の場合は、リーグ戦を通じて（ウ以下同様）勝者総数の多いチームを上位とする。
- ウ イで同等の場合は、「一本勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
- エ ウで同等の場合は、「技あり優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
- オ エで同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。
- カ オで同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
- キ カで同等の場合は、「技あり」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
- ク キで同等の場合は、抽選によって順位を決定する。
- 10 試合規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020)及び国内における「少年大会特別規定」及び「大会申し合わせ事項」による。
- (2) 試合時間は3分とする。
- (3) 優勢勝ちの判定基準  
勝敗の決定基準は、「一本」「技あり」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は、「引き分け」とする。  
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）が無い、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
- (4) 試合場内の大きさは、32畳とする。
- (5) 逆背負投は禁止とし、かけた場合は『反則負け』とする。
- 11 試合 抽選 平成31年3月2日（土）新潟県柔道少年団で行う。
- 12 表 彰 第1位・第2位・3位までを表彰する。
- 13 申 込 先 〒957-0018 新発田市緑町2丁目15-19  
第31回BSN少年柔道大会事務局 酒井 格  
TEL 0254-24-6665 携帯；090-6255-4538
- 14 申込締切 平成31年2月24日（日）必着 郵送での申し込とさせていただきます。  
FAX・メールでの申し込みは受け付けません。

- 15 参加料 1チーム3,000円  
当日受付で会場受付納入すること。
- 16 審判・監督会議 平成31年4月7日(日) 9:00~9:30  
鳥屋野体育館武道館 会議室で行う。
- 17 上位大会出場 優勝チームは、平成31年5月4・5日の全国少年柔道大会に出場できる。
- 18 その他 (1) 参加選手は、スポーツ傷害保険に加入してあること。  
(2) 負傷については、応急手当はするが事後の責任はもたない。  
(3) 練習は、平成31年4月7日(日) 8:30~8:45まで会場で行える。  
(4) 外履き靴は、入口には置かず、下足場か、ビニール袋等に入れ各自で管理すること。  
(5) ゼッケン(チーム名と苗字入り)を柔道着に着用して試合すること。  
ゼッケンは途中で外れることのないよう、しっかり縫い付けること。  
布地は白色。(晒・太綾)  
サイズは概ね、横30~35cm、縦25~30cm。  
苗字(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3。  
書体は太いゴシック体または、明朝体で男子は黒色、女子は濃赤色  
縫い付けの場所は後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫いつける。
- 19 脳振盪対応について  
ジュニア(20歳未満)以下の選手及び指導者は、下記の事項を順守すること。  
① 大会1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)精査を受けること)  
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。  
④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

お願い

本大会は、身体的にも精神的にも発展途上の小学校児童の大会であることを常に念頭におかれて、特に危険防止について考慮されたい。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢、組み方についてもご配慮、ご指導お願いいたします。

※ 添付資料

- 1 参加申込み書
- 2 選手変更届 メンバー変更は必ず受付に届け出ること。(2部)  
届け出が無い場合は選手変更を認めません。